

咲明日ステーション交流会

～地域と繋ぐ 異世代間交流～

10月11日(水)に本校にて「咲明日ステーション交流会～地域と繋ぐ 異世代間交流～」を行いました。未就園児親子と高齢者の方に参加していただきました。生活文化科3年生(35名)、福祉科3年生(17名)が、交流会に向けて、各学科で学んだことを生かしておもてなしをしました。また、今回の交流会では、音楽療法士の「濱島秀行先生」をお迎えし、講演もしていただきました。

短い時間でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。

【交流会の内容】

1. 始めの会
2. 絵本の読み聞かせ ～広めよう坂下のそば～
(そばができるまでの大型絵本、そばのうたの合唱)
3. 心も体も元気に！健康体操
～体と脳を動かそう、認知症予防～
4. 音を楽しもう！音楽の世界
～音楽療法士の濱島先生による講演～
5. そばで心を通わせよう
～そばクッキーを食べながら皆でお話しよう～
6. 終わりの会

【本交流会の目的】

住みやすい町づくりを目指し、高校生と未就園児親子、高齢者の交流の懸け橋になる。また、坂下の特産物である「そば」を絵本や、オリジナル楽器、手作りお菓子などで広める。



【絵本の読み聞かせ】



そば粉からそばができるまでを絵本にしました。そばの歌の3・4番も皆で一一緒に歌いました。



【健康体操】

音楽に合わせて、手や足を動かしました。右と左違う動きをしたりと、脳を活性化させました。



【音楽療法士 濱島秀行先生の講話】



子どもから、高齢者の方まで、皆が楽しめる曲を演奏していただきました。会場内を歩かれ、間近でバイオリンの音色を聴くことができました。



そばの実を使用して私たちが製作したオリジナル楽器も使用して、リズムに合わせて皆で演奏をさせていただきました。



【そばクッキー&呈茶】



そば粉を使用した、絞りクッキーと型抜きクッキーを呈茶とともにプレゼントしました。
フードコースが1つ1つ丁寧に作りました。

【生徒の感想】

- 前回の未就園児親子交流会で作ったおもちゃを使うことができ、皆と一緒に演奏することができ、楽しそう良かったと思う。濱島先生も、私たちが作ったおもちゃを楽しく演奏するために色々工夫してください、嬉しかったです。
- 目を見て話をする事と、笑顔で接することが大切だと感じました。高齢者の方は耳が遠い方も多いので、少し近くで話ができるとよいと思いました。「ありがとう」という言葉がとても嬉しかったです。
- 横にいて高齢者と会話するより、高齢者の前で会話をする事で、たくさんお話をすることができました。高齢者の方から「楽しかった」という言葉が聞けて嬉しかったです。
- 全員が参加して楽しめる雰囲気作りが大切だと思いました。手作りの楽器を配り、音楽に合わせて鳴らしてもらったり、手拍子を促し、会場全体が一つとなっていました。私も参加しましたが、色々な人と一緒に参加でき、とても嬉しかったです。